

小売業の労働災害防止のための 取組事例集



安全で健康に働くことのできる
職場環境のために



神奈川小売業 + S a f e 協議会

近年、小売業における労働災害は増え続けており、その背景には高齢化の進展、雇用形態の多様化、人手不足などがあるほか、小売業では転倒や腰痛など日常生活でも発生するような災害が多いため、企業が自らの危機として対策を講じるまでの必要性の認識に至らないということも理由の一つとされています。

また、「お客様第一」の標語にあるとおり、従業員よりも顧客や利用者への対応を優先する企業風土も影響しているとも言われています。

このような問題を解決するため、厚生労働省では、令和4年6月20日に、労働災害防止の機運の醸成を図り、全ての関係者が一丸となって、顧客や利用者だけでなく従業員の安全を第一に掲げて取組を進めていくことを目的とした「従業員の幸せのための Safer Action For Employees (SAFE) コンソーシアム」を設立しました。

神奈川労働局では、このコンソーシアムの設立を受けて、令和4年8月に神奈川県内に本社のある安全衛生活動のリーディングカンパニーをメンバーとする「神奈川小売業 + Safe 協議会」を設立し、順次、新しい構成員に加わっていただき、神奈川県内の小売業における安全衛生活動水準の向上を図るための各種取組を開始しました。

本事例集は、その取組の一つとして、同協議会のメンバーの協力を得て、各種取組を取りまとめたものです。

小売業の関係者におかれましては、この事例集を参考としていただき、労働災害防止に向けた取組みを進めてください。

令和5年7月

神奈川小売業 + Safe 協議会

(構成員)

オーケー株式会社

生活協同組合ユークラブ

富士シティオ株式会社

株式会社クリエイトエス・ディー

相鉄ローゼン株式会社

株式会社小田原百貨店

小田急商事株式会社

株式会社たまや

株式会社やまか

中央労働災害防止協会

神奈川産業保健総合支援センター

神奈川県 産業労働局

神奈川労働局 労働基準部安全課

1 転倒防止対策

(1) 雨天時の入口転倒防止対策 (ユーコープ 小豆餅店)

レジカウンター部門パート職員より、店の入口が滑るとヒヤリハットの報告があり雨でタイルが滑る状況を確認。そこでリスクアセスメントを実施しリスクを見積もりタイルへ滑り止めテープを貼ることで雨の日に滑って転倒するリスクの低減措置を図りました。



白い箇所が滑り止めを貼った箇所

◇ 取組効果 (現場の声)

今年度は各部門でリスクアセスメントを実施して取り組んでいこうと、今回はレジカウンター部門パート職員の声(ヒヤリハット)からのリスクアセスメントを実施して滑りの改善となりました。

(2) 冷凍庫床の氷を除去して転倒防止 (ユーコープ 旭ヶ丘店)

労安パトロールの指摘事項で屋外冷凍庫の床や壁についた氷により万が一、在庫の搬入などで滑った場合、大事故につながりかねないとの指摘を受けリスクアセスメントを実施。旭ヶ丘店は屋外のプレハブに冷凍庫があり、開閉時に外気が流入することで、毎日のように入口付近に付着する氷を金槌で除去しなくてはなりません。ですが、床までは実施できておらず、パートさんからは冷凍庫の掃除を実施した記憶はないとのこと。そして、今まで事故が無かったことが、不思議なくらいの氷の付着でした。



冷凍庫床氷除去前



氷除去後

◇ 取組効果（現場の声）

事故のリスクは大幅に低減できるくらいに氷を完全除去できました。今後の冷凍庫清掃のルーチン化をすすめる状態を保ちます。

（3）惣菜作業場グリストラップ蓋の交換（オーケー 妙蓮寺店）

惣菜作業場のグリストラップ蓋が滑りやすいため、滑り止め加工が施された蓋に交換した。（これまで蓋に滑り止めシールを貼り使用していたが、シールの老朽化やシールに油が詰まり持続的な効果が期待できないため、滑り止め加工（表面凹凸の密度と高さ増）した蓋に交換した。）



◇ 取組効果（現場の声）

滑りやすい箇所が修繕されたので安心して業務に取り組めるようになった。

（4）フライヤー付近の転倒防止対策（ユーコープ ハーモス荏田店）

5月度の労働安全衛生委員会で出た、各部門のヒヤリハットの中からリスクを抽出し部門内でリスクアセスメントを実施。惣菜部門では、いくつかヒヤリハットが出た中で、「フライヤー付近の足元が滑って危ない。」という声が多く、その対策を考えました。最初は、「気を付けてゆっくり歩く」などの意見も上がりましたが、十分な対策が出ず、もう一度考え直しました。惣菜部門の防水靴にはゴムの滑り止めが付いているが、その効力を十分に活かしていないことから、足裏を綺麗にする方法として、清掃用のマットを設置する事決めました。フライヤー付近の滑り止めの効果として



緑のマットが靴裏の汚れを落とすマット



左側が清掃用マット使用后

は、完全に滑らなくなっているとはいきませんが靴裏の溝のゴミを落とす事で、予防が出来ていると考えられます。

◇ 取組効果（現場の声）

設置後、総菜部門の皆さんからは「毎回汚れを落とすのは少し面倒だけど、汚れが落ちるのがしっかり見える」「気が付かないうちにこんなに汚れが付いていた」などの声が上がりました。また店内の床に汚れが落ちにくくなるため、その波及効果もあります。現在では、黒いマットで油汚れを落とし、緑のマットでは靴裏の汚れを落としてから、作業室に出入りするよう部門内で共有をしています。

（５）店頭入口付近の滑り対策（オーケー 妙蓮寺店）

雨の日や湿気の多い日は床が滑りやすくなりますが、特に外気の影響を受けやすい店頭入口や在庫室入口付近では、ヒヤリとするような床の滑りが散見されたため、付近にモップを設置しこまめに掃除を実施しています。



◇ 取組効果（現場の声）

床濡れによる転倒は重篤な事故につながる恐れがありますが、少しの気付きと簡単なモップ掛けで防ぐことができるので従業員同士が声を掛け合い取り組んでいきたいと思えます。

2 腰痛予防対策

(1) 作業場における棚等の設置 (オーケー 妙蓮寺店)

総菜作業場のシンク上で作業ができるように網目状の蓋を設置。狭隘なスペースの有効活用により作業効率が格段に上がった。



総菜作業場の適切な位置に包材用の棚を設置。包材を使用する際の体の動きが軽減され、腰痛等のリスク減少と作業効率向上の両立を図ることができた。



◇ 取組効果 (現場の声)

適切な位置に包装用の棚が設置されたので身体の動きが軽減され、作業効率も上がった。

(2) 各レジにゴム製のマットを設置 (クリエイトエス・ディー 全店舗)

内容：各レジにゴム製のマットを設置した。

効果：床面に直接立っているより足腰への負担軽減



◇ 取組効果 (現場の声)

足腰が楽になった。冬場の底冷えが和らいだ (以前は段ボールを引いていた)

(3) 在庫用キャリーの導入 (クリエイトエス・ディー 全店舗)

内容：働く女性社員が増えたため、基本的に在庫はリカーキャリーに乗せて容易に動かせるようにする。

改善前：壁面に直積み

改善後：キャリーに乗せて移動を容易に



◇ 取組効果 (現場の声)

女性スタッフでも移動しやすくなって、働きやすくなった。

3 墜落・転落対策

(1) 作業場天井エアコンの交換・換装 (オーケー 妙蓮寺店)

惣菜・ベーカリー部門の天井エアコン老朽化交換に伴い、メンテナンスが容易なタイプに換装しました。これにより脚立の使用が不要となったほか、無理な姿勢での作業が無くなり、誰でも安全に作業ができるようになりました。

エアコン本体が天井に設置されており、フィルター清掃・交換には脚立を使用して実施

換装前



電動式ワイヤーでフィルターが下に降りて来るタイプに換装され、脚立が不要となりました。

換装後



◇ 取組効果 (現場の声)

惣菜・ベーカリー部門のエアコンは油や粉のためフィルターが目詰りしやすく、頻繁に掃除しなければなりません。換装により誰でも簡単にメンテナンスできるようになったため、大変助かっています。

(2) ロールスクリーン式の横断幕への変更 (クリエイトエス・ディー 約半数の店舗)

内容: 1か月に6回程度使用する横断幕をロールスクリーン式に変更した。

効果: 店外等に大きい脚立に乗って作業をする必要がなくなった。

店舗意見: 大きい脚立に登らなくてよいので、危険がなくなった。(特に雨の日)



4 火傷対策

(1) 惣菜作業場フライヤーの改修工事（オーケー 妙蓮寺店）

令和2年2月4日に発生した惣菜作業場でのフライヤー油による火傷の教訓を生かし、惣菜作業場フライヤーの改修工事を行った。以前はフライヤーで使用した油を手前に置いた缶に落としながらろ過し、その缶を持ち上げて直接フライヤーに油を注ぐ必要であったが、フライヤー改修により、下部にろ過器が設置され、ろ過した油をホースで直接フライヤーへ油を注げるようにした。

変更後、油を床にこぼすリスクが解消されたほか、女性でもできる簡単な作業へ変わったため、労働災害のリスクが大幅に減少した。

< 以前の状況 >



< 変更後の状況 >

フライヤー下部にろ過を設置



ろ過した油をろ過器ホース
により直接フライヤーへ注入



◇ 取組効果（現場の声）

油のろ過器導入により火傷の危険も軽減され安心して作業ができるようになった。

5 見える化対策

(1) スイングドア出入り時の衝突防止 (ユーコープ 鶴巻店)

5月の労働安全衛生委員会でヒヤリハットの報告でスイングドアの出入り時の出会いがしらの衝突に危険があると報告がありました。報告を受けリスクアセスメントを実施。スイングドアの表示が分かりにくい、右側通行の徹底ができていないと考え、表示を変えてみることにしました。これまでも矢印などで扉に掲示してアピールしてきましたが、定着しませんでした。今回は、ビニールテープ(100円均一)赤・青を使用して色を明確に分けてみることにしました。青が進入、赤は進入禁止



バックルーム側



売場側

◇ 取組効果 (現場の声)

「今までの表示よりもわかりやすい」とのパート職員・アルバイト職員のみんなからうれしい意見をたくさんもらいました。

(2) バックヤード壁面にラインテープの設置 (クリエイトエス・ディー 全店舗)

荷崩防止と視界確保のためバックヤードの壁面約 1.7mにラインテープ設置しました。これ以上積まないことの POP 効果、自主基準を設けて安全な高さを見える化しました。法令遵守 (2m未満) のほか、作業効率の改善につながりました。



◇ 取組効果 (現場の声)

荷物を積み上げるときの基準がより明確になりました。

6 熱中症対策

(1) スポットクーラーの設置（クリエイトエス・ディー 約半数の店舗）

夏場のマスク着用による暑さ対策のため、バックヤードにスポットクーラーを設置し、より快適な職場環境の整備を図った。



◇ 取組効果（現場の声）

バックヤードの作業が涼しくなった。暑くなったときに涼める利点はあるが、スポットクーラーに水がたまるため交換が面倒。また、排気熱をどう逃がすかが課題です。

上記取組は、当該企業の安全衛生活動の一部です。



神奈川県小売業+Safe協議会